

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年11月14日

**【四半期会計期間】** 第151期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** ダイニック株式会社

**【英訳名】** DYNIC CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 大石 義夫

**【本店の所在の場所】** 京都府京都市右京区西京極大門町26番地  
(同所は登記上の本店所在地であり、実際の本社業務は東京本社において  
行っております。)

**【電話番号】** 京都 (075) 313局2111番 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 京都本社事務所長 佐久間 繁

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区新橋6丁目17番地19号  
ダイニック株式会社 東京本社

**【電話番号】** 東京 (03) 5402局3132番

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 木村 博

**【縦覧に供する場所】** ダイニック株式会社 東京本社  
(東京都港区新橋6丁目17番地19号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第150期 第2四半期 連結累計期間	第151期 第2四半期 連結累計期間	第150期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	19,932,457	20,214,960	39,934,852
経常利益	(千円)	545,237	573,655	1,319,572
四半期(当期)純利益	(千円)	342,045	466,116	860,318
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	368,720	1,163,991	1,968,044
純資産額	(千円)	12,256,503	14,807,424	13,855,689
総資産額	(千円)	43,812,111	45,557,458	45,380,255
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	8.07	10.99	20.29
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	(注)3.	(注)3.	(注)3.
自己資本比率	(%)	28.0	32.5	30.5
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	193,509	89,460	2,114,137
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	301,860	48,988	1,443,603
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	336,218	206,061	851,674
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,277,554	2,480,571	2,587,657

回次		第150期 第2四半期 連結会計期間	第151期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	4.64	3.51

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に円安・株高が進行し、輸出型企業を中心に企業業績が改善し、景況感が大幅に改善する等、回復の兆しが見えてきました。

一方で、新興国経済の減速、原油高等によるコストの上昇といった景気下振れリスクにより本格的な景気回復へは先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き収益改善への取り組みを継続してまいりました。

その結果、売上高は20,215百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。利益面につきましては、営業利益が552百万円（前年同四半期比1.2%減）、経常利益が574百万円（前年同四半期比5.2%増）、四半期純利益は466百万円（前年同四半期比36.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

#### 印刷情報関連事業

印刷被写体においては、書籍装幀用クロスは大型案件が少なく前年同四半期比減となりました。産業用の品質表示用ラベルは主に海外中心に堅調に推移し、印刷用フィルムは自動販売機ディスプレイ用途の広告需要が上向いた事などから前年同四半期比増となりました。

印字媒体においては、ラベル等の印字用熱転写リボンは海外拠点において売上が減少し、前年同四半期比で減少いたしました。

その他、有機EL用水分除去シートは通信機器用途が伸び、全体に堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は8,350百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は535百万円（前年同四半期比28.9%増）となりました。

#### 住生活環境関連事業

壁装材は、戸建て住宅向け等で出荷量は徐々に増加しておりますが、燃料費等のコスト増で利益は大きく圧迫されております。

産業用ターポリンは、復興関連及び樹脂運搬用コンテナと鉄道関連用途が堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

不織布は、自動車内装材は国内生産台数減少等の影響で前年同四半期比減となりましたが、自動車用のフィルターにおいては、国内外ともに堅調に推移いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は6,299百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益は280百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。

#### 包材関連事業

食品包材・蓋材は国内販売が大きく落ち込み、前年同四半期比で減少いたしました。

医療用パップ剤用フィルム加工は大幅な売上減となりました。

その結果、当セグメントの売上高は3,133百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業利益は148百万円（前年同四半期比33.4%減）となりました。

#### その他

衣料用接着芯地は、海外を中心に堅調に推移いたしました。

ファンシー商品は、ノート・スケジュール帳等が好調で前年同四半期比増となりました。

その結果、売上高は3,117百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は189百万円（前年同四半期比7.6%増）となりました。

### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して177百万円増加し、45,557百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が751百万円減少し、商品及び製品が312百万円、建設仮勘定が288百万円、投資有価証券が258百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して775百万円減少し、30,750百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1,069百万円、短期借入金が425百万円減少し、長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して952百万円増加し、14,807百万円となりました。

### (3) キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの収入89百万円、投資活動によるキャッシュ・フローの支出49百万円、財務活動によるキャッシュ・フローの支出206百万円となりました。連結ベースの現金及び現金同等物は2,481百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて203百万円の増加（前年同四半期比8.9%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、売上債権の減少955百万円、仕入債務の減少1,237百万円などにより当第2四半期連結累計期間は89百万円の収入となりました。これは前第2四半期連結累計期間の194百万円の収入に対し104百万円の収入の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出510百万円、投資有価証券の売却による収入483百万円などにより当第2四半期連結累計期間は49百万円の支出となりました。これは前第2四半期連結累計期間の302百万円の支出に対し253百万円の支出の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払額212百万円などにより当第2四半期連結累計期間は206百万円の支出となりました。これは前第2四半期連結累計期間の336百万円の支出に対し130百万円の支出の減少となりました。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は159百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	150,000,000
計	150,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	42,523,735	42,523,735	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株 であります。
計	42,523,735	42,523,735		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		42,523,735		5,795,651		944,696

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する 所有株式数 の割合(%)
ニックグループ持株会	東京都港区新橋 6 - 17 - 19	1,787	4.20
(株)良品計画	東京都豊島区東池袋 4 - 26 - 3	1,298	3.05
三井住友海上火災保険(株)	東京都千代田区神田駿河台 3 - 9	1,211	2.84
(株)ヤクルト本社	東京都港区東新橋 1 - 1 - 19	1,034	2.43
(株)三井住友銀行	東京都千代田区丸の内 1 - 1 - 2	1,000	2.35
みずほ信託銀行(株)	東京都中央区八重洲 1 - 2 - 1	1,000	2.35
住友不動産(株)	東京都新宿区西新宿 2 - 4 - 1	987	2.32
(株)滋賀銀行	滋賀県大津市浜町 1 - 38	960	2.25
(株)武蔵野銀行	埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1 - 10 - 8	960	2.25
コクヨ(株)	大阪市東成区大今里南 6 - 1 - 1	838	1.97
計		11,075	26.01

(注) (株)みずほフィナンシャルグループから平成21年9月25日付けで提出された大量保有報告書(変更報告書)により平成21年9月15日現在でそれぞれ以下の通り株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記の大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりです。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
みずほ信託銀行(株)	東京都中央区八重洲 1 - 2 - 1	1,602	3.77
(株)みずほコーポレート銀行	東京都千代田区丸の内 1 - 3 - 3	184	0.43



(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 130,000		
	(相互保有株式) 普通株式 105,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 42,049,000	42,049	
単元未満株式	普通株式 239,735		
発行済株式総数	42,523,735		
総株主の議決権		42,049	

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ダイニック(株)	京都市右京区西京極 大門町26	130,000		130,000	0.3
(相互保有株式) (株)新生商会	大阪市中央区平野町 3 - 1 - 10	105,000		105,000	0.2
計		235,000		235,000	0.5

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,943,561	2,826,494
受取手形及び売掛金	<sup>3</sup> 10,493,518	<sup>3</sup> 9,742,337
商品及び製品	3,321,512	3,633,598
仕掛品	900,769	874,902
原材料及び貯蔵品	2,273,709	2,201,840
繰延税金資産	362,881	392,571
その他	270,516	510,560
貸倒引当金	73,912	85,977
流動資産合計	20,492,554	20,096,325
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	13,090,901	13,243,367
減価償却累計額	9,944,599	10,081,066
建物及び構築物(純額)	3,146,302	3,162,301
機械装置及び運搬具	21,998,449	22,376,000
減価償却累計額	20,556,638	20,900,895
機械装置及び運搬具(純額)	1,441,811	1,475,105
工具、器具及び備品	2,772,191	2,799,703
減価償却累計額	2,585,395	2,608,144
工具、器具及び備品(純額)	186,796	191,559
土地	9,974,131	10,006,970
リース資産	858,354	833,285
減価償却累計額	390,969	425,105
リース資産(純額)	467,385	408,180
建設仮勘定	275,124	563,578
有形固定資産合計	15,491,549	15,807,693
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,018	340
その他	37,067	35,644
無形固定資産合計	38,085	35,984
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	6,041,102	6,298,892
長期貸付金	30,347	30,247
繰延税金資産	141,722	136,533
投資不動産	3,212,592	3,213,259
減価償却累計額	745,777	769,180
投資不動産(純額)	2,466,815	2,444,079
その他	786,221	815,752
貸倒引当金	108,140	108,047
投資その他の資産合計	9,358,067	9,617,456
固定資産合計	24,887,701	25,461,133
資産合計	45,380,255	45,557,458

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>3</sup> 8,913,622	<sup>3</sup> 7,844,264
短期借入金	9,765,487	9,340,668
リース債務	120,918	116,532
未払法人税等	271,714	327,579
繰延税金負債	24	35
賞与引当金	387,855	430,676
役員賞与引当金	28,930	23,284
環境対策引当金	52,019	3,287
設備関係支払手形	<sup>3</sup> 198,869	252,358
その他	1,189,412	1,093,999
流動負債合計	20,928,850	19,432,682
固定負債		
長期借入金	4,524,505	5,208,749
リース債務	334,678	281,107
繰延税金負債	737,288	914,378
再評価に係る繰延税金負債	1,501,315	1,501,315
退職給付引当金	2,405,983	2,349,166
環境対策引当金	15,984	15,984
その他	1,075,963	1,046,653
固定負債合計	10,595,716	11,317,352
負債合計	31,524,566	30,750,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,795,651	5,795,651
資本剰余金	944,696	944,696
利益剰余金	5,032,996	5,287,138
自己株式	28,852	29,134
株主資本合計	11,744,491	11,998,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	550,186	914,640
土地再評価差額金	2,596,297	2,596,297
為替換算調整勘定	1,035,285	701,864
その他の包括利益累計額合計	2,111,198	2,809,073
純資産合計	13,855,689	14,807,424
負債純資産合計	45,380,255	45,557,458

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	19,932,457	20,214,960
売上原価	16,065,725	16,327,902
売上総利益	3,866,732	3,887,058
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 3,308,017	<sup>1</sup> 3,335,162
営業利益	558,715	551,896
営業外収益		
受取利息	5,821	6,186
受取配当金	54,038	63,220
受取賃貸料	77,144	88,300
為替差益	296	5,571
雑収入	91,302	75,588
営業外収益合計	228,601	238,865
営業外費用		
支払利息	107,576	95,361
雑損失	134,503	121,745
営業外費用合計	242,079	217,106
経常利益	545,237	573,655
特別利益		
固定資産売却益	1,992	2,687
投資有価証券売却益	90,271	187,506
特別利益合計	92,263	190,193
特別損失		
固定資産処分損	14,236	4,677
投資有価証券評価損	12,289	1,500
ゴルフ会員権評価損	1,500	630
特別損失合計	28,025	6,807
税金等調整前四半期純利益	609,475	757,041
法人税等	267,430	290,925
少数株主損益調整前四半期純利益	342,045	466,116
四半期純利益	342,045	466,116

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	342,045	466,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,318	364,454
為替換算調整勘定	51,563	318,309
持分法適用会社に対する持分相当額	1,430	15,112
その他の包括利益合計	26,675	697,875
四半期包括利益	368,720	1,163,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368,720	1,163,991
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	609,475	757,041
減価償却費	431,083	429,608
その他の償却額	1,349	1,429
のれん償却額	678	678
賞与引当金の増減額（は減少）	11,446	42,821
役員賞与引当金の増減額（は減少）	3,390	5,646
退職給付引当金の増減額（は減少）	65,261	62,912
貸倒引当金の増減額（は減少）	4,166	3,369
受取利息及び受取配当金	59,859	69,406
支払利息	107,576	95,361
為替差損益（は益）	467	10,146
持分法による投資損益（は益）	9,246	842
投資有価証券売却損益（は益）	90,271	187,506
投資有価証券評価損益（は益）	12,289	1,500
有形固定資産売却損益（は益）	1,992	2,687
有形固定資産処分損益（は益）	14,236	4,677
売上債権の増減額（は増加）	3,681	954,599
たな卸資産の増減額（は増加）	88,289	11,077
仕入債務の増減額（は減少）	500,071	1,237,379
未払消費税等の増減額（は減少）	15,401	10,088
その他	252,368	366,311
小計	309,346	349,059
利息及び配当金の受取額	68,121	83,270
利息の支払額	94,775	97,209
法人税等の支払額又は還付額（は支払）	89,183	245,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	193,509	89,460
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	126,548	196,851
定期預金の払戻による収入	168,607	189,226
有形固定資産の取得による支出	431,333	509,951
有形固定資産の売却による収入	10,165	4,880
無形固定資産の取得による支出	1,388	-
投資有価証券の取得による支出	260,331	8,892
投資有価証券の売却による収入	302,949	483,368
関係会社株式の取得による支出	6,916	3,882
貸付金の回収による収入	1,630	100
その他	41,305	6,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	301,860	48,988

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	549,550	309,004
長期借入れによる収入	2,394,260	2,325,520
長期借入金の返済による支出	1,909,734	1,948,928
リース債務の返済による支出	58,978	61,393
自己株式の取得による支出	230	282
配当金の支払額	211,986	211,974
財務活動によるキャッシュ・フロー	336,218	206,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,225	58,503
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	430,344	107,086
現金及び現金同等物の期首残高	2,707,898	2,587,657
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 2,277,554	<sup>1</sup> 2,480,571



【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
1. 税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 手形割引高及び裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形割引高	1,550,061千円	1,502,481千円
受取手形裏書譲渡高	15,830千円	19,461千円

2 債権流動化による手形譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	899,933千円	900,000千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日においては連結子会社の決算日は金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	439,551千円	2,408千円
支払手形	973,110千円	91,422千円
設備関係支払手形	71,276千円	

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
賞与引当金繰入額	131,767千円	137,516千円
役員賞与引当金繰入額	20,850千円	23,284千円
退職給付費用	52,359千円	41,743千円
貸倒引当金繰入額	786千円	3,368千円
減価償却費	60,845千円	59,202千円
発送配達費	642,063千円	635,202千円
給料・手当	1,001,803千円	1,025,719千円
研究開発費	160,832千円	159,076千円
賃借料	164,603千円	160,352千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	2,458,156千円	2,826,494千円
投資その他の資産の「その他」に計上されている長期性預金	151,100千円	114,050千円
預入期間が3か月超の定期預金	331,702千円	459,973千円
現金及び現金同等物	2,277,554千円	2,480,571千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	211,986	5.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	211,974	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	印刷情報 関連事業	住生活 環境関連 事業	包材関連 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	8,140,799	6,227,509	3,284,851	17,653,159	2,279,298		19,932,457
セグメント間の内部売上高 又は振替高	150,206	19	8,510	158,735	545,218	703,953	
計	8,291,005	6,227,528	3,293,361	17,811,894	2,824,516	703,953	19,932,457
セグメント利益	414,673	300,667	222,747	938,087	175,903	555,275	558,715

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衣料用接着芯地やファンシー商品及び運送・保管の事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 555,275千円には、セグメント間取引高消去 23,817千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 531,458千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	印刷情報 関連事業	住生活 環境関連 事業	包材関連 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	8,193,007	6,298,694	3,124,639	17,616,340	2,598,620		20,214,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	156,858		8,210	165,068	518,626	683,694	
計	8,349,865	6,298,694	3,132,849	17,781,408	3,117,246	683,694	20,214,960
セグメント利益	534,665	280,360	148,406	963,431	189,187	600,722	551,896

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衣料用接着芯地やファンシー商品及び運送・保管の事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 600,722千円には、セグメント間取引高消去 19,913千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 580,809千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8円07銭	10円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	342,045	466,116
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	342,045	466,116
普通株式の期中平均株式数(株)	42,396,571	42,393,995

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

ダイニック株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 西 尾 方 宏

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 駿 河 一 郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているダイニック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ダイニック株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。